

## 備前緑陽高と関西福祉大 地域の人材育成で連携

協定調印



協定に調印後、握手する橋本校長（右）と安井学長

が同高で講演するなど関係があったことから、大学側が協定締結を持ち掛けた。

同大で調印式があり、安井秀作学長と同高の橋本達也校長が協定書にサイン。安井学長は「高校生が進路の可能性を広げてほしい」、橋本校長は「生徒が大学の専門的な研究に触れることで将来の目標をつかんでほしい」などと述べた。同高と大学との連携協定は2校目。同大が高校と結ぶのは3校目で、岡山県内では初めて。（岸俊行）

備前緑陽高校（備前市西片上）と関西福祉大（兵庫県赤穂市）は17日、教育分野などで連携する協定を結んだ。同大教員による出張講義、高校生の同大での授業体験などを計画している。県境を挟んで比較的近くにある学校間で手

を携え、地域を担う人材の育成を図る。協定には、施設の相互利用や同大のオープンキャンパスへの同高生の参加、ボランティアやクラブ活動での生徒と学生との交流なども含め、八つの実施事業を盛り込んでいく。以前から同大の教員

山陽新聞

14.9.18

山陽新聞社提供

複写はご遠慮ください。